

去る、2月10日(水)には、熊野市議会臨時会が開催され、東紀州環境施設組合の設置について、及び令和2年度熊野市一般会計補正予算(第8号)について審議を行いました。東紀州環境施設組合の設置については、東紀州5市町(熊野市、紀北町、尾鷲市、御浜町、紀宝町)が共同で整備・運営を行う広域ごみ処理施設(現在の予定地は尾鷲市宮野球場)。今回の審議では、その一部事務組合の設立に向け、規約を定めた議案が賛成多数での可決となりました。

また、令和2年度熊野市一般会計補正予算(第8号)に関して、今回の補正は、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業に係るもので全会一致での可決となりました。

当初は3密を避ける等の感染症対策を十分に講じる事を条件に成人式の開催に賛成し、議員の欠席については各自の判断に任せる方向でしたが、12月18日の議員懇談会で、コロナ禍の状況の変化等から、「本年度は全議員が出席を見直し、議長・副議長のみ議会を代表して出席する」と決定しました。

しかし、その後も感染拡大を続けるコロナ禍の情勢、市民の意見を踏まえて、12月25日の議員懇談会で再度検討した結果、全議員一致で「本年度は延期することが望ましい」との結論になり、議長・副議長を通じて教育委員会に申し入れを行いました。倉本教育長より「住民の代表者である議員全員の意向は非常に重いものである。」等の回答を得る事ができ、最終的には「行政として延期する」という決定となりました。

新たな課題については今後検討していく事となり、この熊野市の決断により、御浜町、紀宝町、尾鷲市も開催から延期へと舵がきられました。

熊野市議会基本条例に基づき、議会が市執行部に対して行う政策提言等に資するため、行政の主役は市民であることを念頭に、「市民が参加する議会」を目指す活動の一環として開催する「熊野市議会市民懇談会」は現在、新型コロナウイルス感染症の情勢を鑑み、開催を見合わせております。しかし、このような時だからこそ、市民の皆様の大切な声を議会へと反映させるべく、その開催方法についてリモートでの開催など、試行錯誤を繰り返し、令和3年度には、新たな様式を取り入れ、試行的に開催を目指しております。

熊野市議会ホームページでは、議会のしくみや議会の構成、議会会議録や議会中継等、様々な情報を公開しております。現在、議会中継(一般質問を含む)が携帯電話(スマートフォン)からも閲覧できるようになっております。是非、ご覧下さい。



市議会ホームページ用QRコード



議会中継用(スマホ対応)QRコード

(右上のQRコードを読み取っていただくと、ご覧いただけます。)

議会だよりについてのアンケートにご協力下さい。



アンケートQR



熊野市議会では、現在試行的に議会だよりを発行させていただいております。今後も開かれた議会推進のため、議会だよりが市民の皆様にとって、有意義なものとなるよう改善してまいりますので、是非ともご意見をお寄せいただければ幸甚でございます。

アンケートURL <https://forms.gle/3jJef9ySjFVYtehZ6>

議会 熊野市 だより

【Contents】

- P1・正副議長挨拶・議員紹介
- P2/3・新型コロナウイルス感染症対策特別委員会について
- P3・紀南病院組合議会/紀南介護保険広域連合議会について
- P4・2月臨時会について
成人式への議会対応について
熊野市議会からのお知らせ



熊野市議会議長挨拶

早春の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

三重県に新型コロナウイルス「緊急警戒宣言」が発出されるなど、年明け以降も社会経済活動や日常生活において感染拡大の影響が続いています。市議会におきましても、市民懇談会の自粛や委員会行政視察、研修等の中止という厳しい状況ではございますが、感染拡大の防止策を講じつつコロナ対策や関連予算の審議、各地域の重要課題についての取り組み等を遅滞なく行っております。

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会では、デジタルの活用などコロナ後の市民サービス向上も見据えて全議員が全力で取り組んでおりますので、市議会活動に今後も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



山本 洋信

熊野市議会副議長挨拶

昨年5月副議長職を拝命しました。経験の浅い身ですが「粉骨砕身」頑張ります。人類にとって全く未経験なコロナ禍、目に見えない敵との戦いは困難を極めます。早速「感染症対策特別委員会」を設置しました。市民の皆様sの生活を守り抜く為にも「船頭多くして船山に上がる」愚を避け「ワンチーム」として活動していく決意です。



大橋 秀行

令和2年度熊野市議会委員会構成

総務厚生常任委員会



◇下田 克彦 ◆松田 唯 畑中 新子



森岡 忠雄 ※川口 朋 久保 智

◇委員長 ◆副委員長 ※監査員
議長(山本議員)は、総務厚生常任委員会所属

産業教育常任委員会



◇伊東 裕将 ◆山田 実 濱 重明



岩本 育久 樋口 雄史 前地 林

◇委員長 ◆副委員長
副議長(大橋議員)は、産業教育常任委員会所属

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、熊野市議会では令和2年6月に全議員を委員とする「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」を設置しました。これまで、その対応策について随時委員会を開催し、緊急対策・施策・事業・予算について取りまとめたものを、議長・委員長から要望、提言として市長に提出しております。

8月には、市独自の早急な感染症対策について、要望書を市長に提出し、市長からその対応策について回答をいただきました。また、10月には、緊急に必要な感染症対策について、補正予算において対応するよう要望し、サーモグラフィーカメラの導入が実現しています。

11月には、令和3年度事業・予算についても要望書を提出し、新型コロナウイルス感染症はもとより、それに関連する事業についても要望を行っております。

また、新型コロナウイルス感染症対策と並行して、ウィズコロナ・アフターコロナの時代を見据えた持続可能なまちづくりと地域の活性化について協議し、現在策定中の第2期熊野市まち・ひと・しごと総合戦略に、32の施策・事業について提言（下記の通り）を行っております。

今後とも情勢の変化を常に注意深く精査し、状況に応じた施策・事業について随時提言・要望を行ってまいります。



8月(左から委員長・議長・市長)



10月(左から市長・議長・委員長)

2 産業育成	(3) 農林水産業	○商社機能を持たせることにより新たな販路開拓などアグリビジネスの拠点化を図る ○農業参入者への訓練機関としての内容の充実を図る ○田舎回帰によるU・I・Jターン者への活用促進 ○漁業女子等、女性の第一次産業への参入支援
	3 住環境	(1) 公共交通 ○特定の地域内運行しかできない乗り合いタクシーの市街地への乗り入れ (2) 市民生活 ○市民個々のスキルを活用できるよう各種活動に活用できるボランティアを登録する人材センターの創設
4 人材育成	(1) 教育	○小中学校における「ふるさと教育」を充実させ、郷土愛を育む教育の実践 ○地域外で就学する学生等への金銭的な支援制度
	(2) 研修機会	○市民を対象とする地域づくりや専門研修の機会の実施 ○地域おこしワークショップの常設化 ○市民と行政の絆を深めるためのタウンミーティングの開催

紀南病院組合議会

紀南病院組合議会について・・・紀南病院組合議会には、市や町の地方公共団体と同様に地方自治体で定められた議会（組合議会）があり、条例、予算等の審議が行われております。定数11名（熊野市議会5名（※組合議会議長含む）、御浜町議会3名、紀宝町議会3名）で、選任方法は組合構成市のそれぞれの議会議員の中から選任される間接選挙となっております。組合議会は、定例会が年3回開催され、必要に応じ臨時議会が開催されます。

去る、11月26日には、臨時会が開催され、正規職員の期末手当を引き下げる条例案について審議を行いました。これに対し、今回の人勧の調査が、新型コロナウイルス感染症に対処する厳しい医療現場の環境に鑑みて、病院は調査対象外とされていること。医療従事者の生活制限や、医療現場の実態も考慮すべき。また、これまで院内でクラスターが発生していないのは、職員らの努力の賜物ではないかということから現状維持を求め、その後、採決があり、否決となりました。12月22日には、定例会が開催され、前回の10月定例会から始まった2回目の一般質問があり、熊野市の選出議員を代表し、新型コロナウイルス感染症に係る対応等について執行部の見解を問いました。また、議案第1号令和2年度紀南病院組合病院事業補正予算については、可決となりました。



紀南病院組合議会の様子

1 人口減少抑制対策	(1) 子育て支援	○子育て給付金制度等児童手当などに上乗せした市独自の給付金制度の整備
	(2) 定住支援	○定住者への移住支度金、生活安定給付金、住居購入（新築）補助金、住宅改修補助金等制度等の整備 ○移住・定住に係る募集、調整、支援等管理運営事務の円滑化を図るための民間定住支援組織の構築と業務の委任
	(3) 就業支援	○すべての市内事業者が移住者・帰郷者を雇用した場合の、市独自の雇用支援制度の整備 ○農林水産業への就業を希望する者への技術取得期間の市独自の生活支援制度の整備 ○農林水産業への個人事業者としての参入に対する、参入準備資金制度等参入を容易にする制度の整備 ○地域おこし協力隊の任期後の定住を促進するための雇用機会の提供
	(4) 関係人口（関係市民）	○観光客を対象とした交流人口ではなく、地域での協働が期待できる一定期間在住できる関係市民、応援市民など半定住者の増加を促す施策を実施し関係人口の増加を図ること ○空家等を活用した短期・中期滞在施設の整備

2 産業育成	(1) 情報通信技術の活用	○Wi-Fi等ネット環境の更なる整備を促進し、テレワーク・リモートワーク等を可能とする企業へのアナウンスの推進 ○空家等活用に係る支援制度の充実 ○遊休公共施設等を活用したサテライトオフィス、シェアオフィス、コワーキングスペースの整備 ○企業等による空家等でのサテライトオフィス等ワーキングスペース整備への支援制度
	(2) 観光産業	○オンラインワークを可能にするホテル等の施設整備への支援 ○オンラインワークができるオートキャンプ場などの環境の整備 ○パソコン、スマホ等によるリモート会議ができる施設の整備 ○ワーケーションの普及促進支援として、ホテル等におけるワーケーション中長期滞在者への支援、昼間利用者への割引クーポン発行等の支援 ○滞在型観光定着のためのメニューの充実と農林漁業従事者との連携の推進 ○ネイチャーガイド、マリンインストラクター、ワーキングインストラクターなど、プロのガイドの育成
	(3) 農林水産業	○地域内産品の地域内流通を図るための施策の実施 ○大都市に依存しない、県内、隣接県を圏域とした経済循環システムの構築

紀南介護保険広域連合議会



紀南介護保険広域連合議会の様子

紀南介護保険広域連合議会について・・・紀南介護保険広域連合会は熊野市、御浜町、紀宝町の首長、議員らで構成され、熊野市議会から5名の議員が選出されており、年3回の定例会が開催されます。

去る、12月23日、議員説明会において、当広域連合の保険給付費について消費税増税、報酬改定や介護職員等特定処遇改善加算の創設があり、今年度9月まで前年比2.48%の伸びですが、第7期事業計画の想定内で推移する一方、要介護認定者については増減しながらもほぼ横ばいであるとのこと。また、今年度は第8期介護保険事業計画の策定年度であり、団塊の世代が後期高齢者となる2025年、さらに現役世代が急減する2040年の高齢者人口や介護サービスのニーズを中長期的に見据え、令和3～5年度で事業計画の策定を行うところであります。議会としても、この地域における介護保険制度の適正な運営について審議に努めてまいります。その後の定例会では、人事院勧告に準ずる給与改定等の専決処分2件、条例改正案1件、補正予算、特別補正予算の計5件を議題とし、審査の結果すべて可決となりました。